



コミコミスク

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 172

2022

8.9

林小学校 夏の研修 まちたんけん

7月29日(金)に林小学校で地域の方が案内役となつての「先生のまちたんけん」研修が開かれました。その報告が届きましたので、ご紹介させていただきます。

林小学校より

スクールガードさんとしていつもお世話になっている、地域の方のご協力のもと、お昼前から「先生のまちたんけん」に出かけました。

はじまりは5月

家庭科5年生の「玉結び」で、なかなか手が回らないとの担任の嘆きを耳にし、地域の方に話してみたら、“手伝ってあげるよ”との快諾。

「それなら(うずしお会)のメンバーにも声かけたげるわ。教頭先生、いつに何人いるのか教えて」と言っただき、アツという間にメンバーがそろいました。

先日「林校区にはお地蔵さんが町ごとにあるんやで。」と教えていただきました。

それはぜひ見に行きたい！と、急なお願いをしましたが、案内を引き受けてくださいました。

教師陣も予定になかった研修会でしたが、まちのことを教えてもらえるとのことで、他の出張等の合間を見つけて、たくさんの参加となりました。

お寺や神社、城跡などを巡り、午後からはまちの歴史について、さらに詳しくおはなしをお伺いしました。

林校区には「船上城跡」があり、築城には高山右近が関わっているとのこと。それがきっかけで校区には隠れキリシタンと関係のあるお寺もあると教えていただき、十字架に仏像がついたものを見せていただきました。

当時は、仏像だけが表に見えるようにして置かれていたとか。

また、昔は林神社の横に林小学校の始まりである神応寺があったとか、茶碗屋の娘がべっぴんさんだったという民謡があり、そこから墓碑になって今もあることを教えていただきました(実際は民話であって、実在ではないでも墓碑があるとのこと。)

お寺のご住職さんやまち協の役員さんにもお話を伺うことができました。お忙しい中、時間を作っていただきました。お世話くださったスクールガードさんは「先生らがまちのことを知りたいと言ってきてくれてうれしいんや。」と言ってくださいました。暑い中にもかかわらず、たくさんのおもてなしをしていただきました。



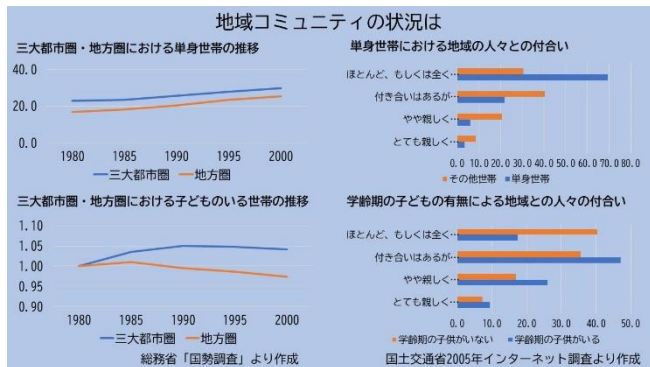
子どもたちが暮らしている林のまちがどんなところなのか、学校の中しか知らない教師にとって、校区の歴史やまちのあれこれを知るとはとても魅力的で、子ども理解や地域理解につながる。もっと言えばまちが大好きになる！そんな気分で過ごせました。



教頭として思うところは、

地域の方が学校の動きによってとても積極的に協力的に相談に乗ってくださること、そして活動を共にしたときに、「子どもと一緒に過ごせて元気出た。」「先生たちに相談をもちかけられてうれしかった。」と、関わったことで生まれた「やりがい」のようなものをまちの方も持つてくださっていることが伝わり、共に関係を築けることを実感しました。

林小学校さん、ありがとうございました。暑い中のまちたんけん、中身も厚い研修になったようですね。林小学校のポテンシャルを感じます。教師が地域のこと、学校の歴史を知るとはとても大切なことなんだと思います。地域のことを知ること、地域の中での学びが生まれてくるのではと思います。「子どもと一緒に過ごせて元気出た。」「先生たちに相談をもちかけられてうれしかった。」とあるように、地域の皆さんにとっても学校は元気のでる場であり、学びの場になることが必要なんだと思います。



地域コミュニティの状況を見ると、単身世帯は都市部も地方も増加傾向で、これは高齢者の単身世帯が増えていると推測されます。

単身世帯は地域での付き合いが少なくなっていくのがこのデータからわかります。

学齢期の子どもがいる世帯は地方部での減少傾向が顕著で都市部でも横並びから減少傾向にあります。学齢期の子どもがいない家庭

は、地域での付き合いが少なくなっていくこともこのデータからわかります。こういったことから、学校は学齢期の子どもがいる家庭を地域につなぐ入り口であり、人がつながる地域コミュニティの拠点としての役割があると考えます。だからコミュニティセンターが学校にある意味が再認識できたように思います。林小学校の地域の方の声から、林小学校は子どもの学びを通して、人がつながり、生きがいをうみ、子どもも大人も育つコミュニティ・スクールへ歩みを始められたのではと感じました。

三田市立高平小学校さんが松が丘小学校に視察にこられました



8月2日の午後、三田市立高平小学校さんが松が丘小学校に視察にこられました。この視察は学校厚生会だよりに松が丘小学校の取組が紹介されているのをご覧になられた高平小学校の校長先生が松が丘小に連絡をとられたことで実現しました。高平小学校では、この夏、「宿題おわせ隊」を地域の方が

企画し、地域の方の力で動いているということを知り、地域のポテンシャルの高さを感じました。そうしたポテンシャルを子どもたちの学びにつなげていくことを考えておられた校長先生の目に、松が丘小学校のカリキュラムマネジメントが止まったようです。そんなこともあり、松が丘小の校長先生の説明や研究推進の先生の説明に、こられた先生方は熱心に耳を傾けておられました。高平小学校でどんなカリキュラムが出来上がっていくか楽しみです。（文責：北本）